

# たのはた

ようこそようこそ

復興へのご支援に  
心から感謝します

1月31日、田野畑小の1・2年生の児童が餅つきに挑戦。使用したもち米65キロは友好都市深谷市から届いたもの。父母らと協力してついた餅はおいしくいただき、後日、仮設住宅の皆さんにもメッセージを添えて配りました。(関連記事10頁)



田野畑小4年  
三浦 啓史郎君

### 僕にできることもある

津波で壊れてしまった島越駅の階段や防波堤を残すことは、津波を忘れないためにいいことだと思います。みんなでウニ採り体験をしたり泳いだりした島越の海が大好き。早くまた海で遊びたいです。募金や家の手伝いなど、僕にもできることがたくさんあることに気付きました。

# 私たちに できること

復興計画の説明を受け、一人一人が今、自分にできることを考えた。  
(代表して7人にインタビュー)



田野畑小5年  
三上 翔希君

### 行事頑張り皆を笑顔に

復興にはたくさんのお金と時間がかかることを学びました。無駄遣いをせずに、お金も時間も大切に使いたいです。4月から6年生。元気で明るい田野畑小にするため、運動会などの学校行事を頑張ります。それが地域にも伝わって、みんなが笑顔になってくれたらうれしいです。

### 貢献できる力付けたい

全員が協力して、震災前よりも活気ある村を目指す計画だと学びました。中学校は今年1年、「感謝の気持ち」「一生懸命な姿」を大切に活動。これは後輩たちにしっかりと受け継がれると思います。高校進学で村を離れますが、村に貢献できる力を少しずつ付けて帰ってきたいです。



田野畑中3年  
小松山 賢君



田野畑小6年  
佐々木 七海さん

### 心の中に未来を描いて

3月11日の悲しい出来事の残骸（防波堤）を原爆ドームのように残すことを知りました。まだ悲しんでいる人もいると思うので、皆さんに笑顔を届けられるように、行事一つ一つを一生懸命に取り組みます。どんな田野畑村にしたいのか、自分の心の中に描いて生活したいです。

### 何事も一生懸命な学校

どんな村を目指しているか明確に知ることができました。4月から3年生。全校を引っ張る存在として、感謝の心を忘れず、何事も一生懸命な学校にしていきます。全国大会を目指している野球部。僕たちの頑張る姿が、少しでも村の皆さんの元気や希望に変わっていったら最高です。



田野畑中2年  
有谷 宇貴君



田野畑小6年  
阿部 七彩さん

### 募金など積極的に参加

震災前もいい村だったけど、それよりいい村を目指して計画づくりしたことが分かりました。近所の人たちと助け合いながら生活できれば、明るく元気な村になっていくと思います。募金や清掃活動などの小さなことにも積極的に参加し、村を少しでも元気にしていきたいです。

### 伝えていく責任がある

復興計画は、村や僕たちの未来を考えてくれていると感じました。震災以降、村内や全国の皆さんから受けたたくさんの支援。津波のことや支援を受けたことを忘れずに伝えていく責任が僕にもあると思います。行事に積極的に参加することもこれからの自分にできることです。



田野畑中1年  
三浦 基誠君



## 児童生徒真剣 復興計画を学ぶ

説明会終了後、村の模型に見入る田野畑小4年生の児童たち

村は1月27日、田野畑小（早川幸男校長、児童174人）で東日本大震災田野畑村復興計画・基本計画の説明会を開催しました。参加したのは4～6年生102人。この説明会は、復興計画の策定経過や内容を分かりやすく伝え、村の未来を担う子どもたちに復興の村づくりについて考えてもらおうと企画したものです。

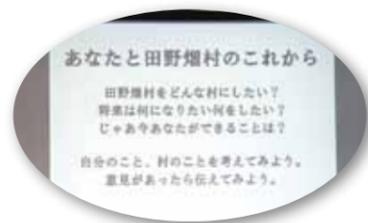
開会にあたり石岡三郎教育長は「震災はつらい記憶ですが、忘れないでください。田野畑をこれまで以上に素晴らしい村にしなければなりません。これから村を背負っていくのは皆さん。今日の説明会をきっかけに、自分たちに何ができるか考えてください」とあいさつ。

村復興対策室の渡辺謙克主査は、計画作成の大切さや内容をスライドを使いながら分かりやすく説明。児童からは「津波で壊れた防波堤はまた造るのか」「防波堤の高さはどうするのか」「島越駅は同じ場所に造るのか」など、多くの質問が出されました。

また、「防波堤を造ったら油断して、また大変なことが起こるかもしれない」「海から離れた場所に家を建てた方がいい」などの意見も発表されました。



計画作成の大切さや計画の内容を学んだ



あなたと田野畑村のこれから  
田野畑村をどんな村にしたい？  
将来は何になりたい何をしてほしい？  
じゃああなたができることは？  
自分のこと、村のことを考えてみよう。  
意見があったら伝えてみよう。

説明会終了後、児童たちは「今、私たちにできること」と題し、一人一人が村のために何ができるかを考えて発表。復興の村づくりについて真剣に考えました。

同説明会は2月15日に田野畑中（佐々木幸彦校長、生徒122人）でも開催。全校生徒が真剣な表情で説明に聞き入り、村の未来を考えました。

Proud!  
Japan  
東日本大震災の復興を支援しよう

私たちは 3月11日を忘れない  
伝えたい 伝えなければならない

# 私の津波体験 11



④島越地区に襲いかかる津波。写真左下に見える建物が工藤理容所  
⑤津波は漁港を破壊し、漁船や住宅を次々とのみ込んでいった  
(写真提供：早野鶴喜さん)



島越  
工藤 鈴子さん (61)

## 押し寄せるがれきに、無我夢中で車を走らせた

3月11日は、島越駅前の自分の店(工藤理容所)にいました。散髪のお客さんが帰り、お茶飲み友達と話しながら少し遅い昼食を食べているとき地震がきました。最初は「大したことない」と思っていたけど、だんだん強くなる地震。慌てて店を飛び出し、2人とも必死で道路標識の支柱にしがみついて揺れが収まるのを待ちました。

「これは津波がくる」と直感。防災行政無線でも大津波警報を知らせていました。でも、自分の心の中では「津波がきても大したことない」と思っていたかもしれない。とりあえず避難はしようと思ひ、友達を先に避難させました。私は、店のブレーカーを下ろし、ガスの元栓を閉め、はさみなどが入ったかごを車に積み込みました。

避難するための車が何台も行き交い始めた道路。その様子を見て、「私も早く逃げないと」と感じました。そのとき、遠くの方から聞こえる

「ゴーツ」と飛行機の飛ぶような音。沖の方を見ると、弁天島の方の波が白いしぶきを上げて見えているのが見えました。車に乗って逃げようとしたとき、「逃げる」と黎明館の方から叫びながら走ってくる若者の姿も見えました。

さすがに、ただならぬ状況だということには分かったので、松前沢方面に向かい、不慣れたオートマ車を必死で走らせました。

途中、高台に避難する人々を見ながら清流橋の少し手前まで逃げました。その場所には私1人。そこでまた大きな地震がきたため停車。振り返ると、しぶきなのか煙なのか分からないけど何か見えました。ふと見ると、川をさかのぼって押し寄せがれき。もう何が何だか分からなくなつて、無我夢中で車を走らせアズビー付近に避難しました。

ふと我にかえつたとき、小学生の孫たちのことが頭に浮かびました。小学校に向かい孫たちの顔を見た

たん、涙があふれました。腰が抜けるように涙が出ました。村の子どもたちに犠牲者が出なかったのは、学校統合が大きかったと思います。そして、下校前の時間だったことも幸いしたんだと思います。

津波から約1カ月後、孫を連れて島越に行きました。私の店、駅、近所の方々、三鉄の線路。全てが消えてしまっていました。孫は何もなくなつてしまった島越に言葉が失い涙。その姿が本当に忘れられません。

今は菅窪地区の仮設店舗で営業しています。顔なじみのお客さんの顔を見たり話したりしているのが紛れませんが、でも、1人で店にいると津波のことを思い出し、これからのことを考えては、涙することもありません。まだまだ、気持ちの整理がつかないというのが本音です。

しかし、いつまでも立ち止まっていられないです。自分でできる範囲でマイペースに、一步一步前に進んでいこうと思います。

# 津波防災対策講演会 津波と被害特性を学ぶ

2月11日、アズビイホールで「津波とその被害の特性」と題して津波防災対策講演会を開催しました。会場には約100人が来場。津波発生メカニズムや復興に向けて注意点を学びました。講師は防衛大学の藤間功司教授。その講演内容の要旨をお知らせします。

### 津波の特徴は高さより長さ

津波の「津」は、港や湾を表す漢字。沖合では気付かない波でも港に近づけば大きな波になって被害を及ぼします。一般的に津波は



約100人が津波発生メカニズムなどを学んだ

高い波だと思われています。しかし最大の特性は長さが長いことです。周期10〜40分、長さは数十キロにもなります。普通の波は長さ数十メートルなので、100倍以上ということになります。

周期の短い波は、ほとんど防波堤を越えません。越えたととしても水の量は少しだけです。しかし、同じ高さでも津波のように周期が長いと、継続して海面が高い状態になり、大量の水が内陸に流れ込みます。これによって、大きな被害が発生してしまいます。

### 津波の約9割は地震が原因

津波の約9割が地震により発生します。大きな地震は主にプレートとの境目で発生。過去の津波のほとんどを、プレートの境目で発生した地震が引き起こしています。

### 大きな地震来たら避難する

いま発生するかもしれないし、100年間起こらないかもしれない。津波とはそういうものです。

「大きな地震が来たらとりあえず避難」を根付かせるのがとても大切です。津波警報が出たら避難したけど津波が来なかった。それを「良かったね」と言える社会づくりをしていきましょう。



講師を務めた藤間功司教授

4枚の大きなプレートの上にある日本は、まさに地震多発地帯です。東北地方太平洋沖地震で、想定外という言葉が有名になりました。地震学者たちが予想していた地震発生領域。単独でマグニチュード(M)7.5クラスの地震が予想されていた。それが、6個くらい領域がほぼ同時に動いてしまう想定外により、M9.0という巨大地震につながりました。そして、広い範囲で大きく地面が動いたことで、巨大な津波を引き起こしてしまいました。

## 東日本大震災一周年追悼式

3月11日(日) 午後2時30分~3時50分

- ◆日時…3月11日(日) 午後2時30分~3時50分(開場2時)
- ◆場所…田野畑中学校体育館
- ◆内容…黙とう、献花など(献花の花は主催者が準備します)
- ◆服装…自由(礼服、平服どちらでもよろしいです)
- ◆問い合わせ先…復興対策室(☎34-2111 内線67)



写真は昨年7月10日に開催した東日本大震災犠牲者お別れ会の様子

準備準備準備!!



**地デジ化まであと30日**

3月31日、これまで視聴してきたテレビのアナログ放送が終了し、地上デジタル放送に完全移行します。何もしないでいると、3月31日以降、テレビを見ることができなくなります。

地デジ放送を見るためには、UHFアンテナの調整やデジタルテレビに買い替えるなどの準備が必要です。デジタルテレビを購入しなくても、デジタルチューナーやチューナー内蔵録画機器を買えば、現在使用しているアナログテレビでも地デジ放送を見ることが出来ます。

しかし、電波の受診状況などによって、準備しても地デジ放送が見られない場合があります。

アナログ放送終了まで、あとたった30日。地デジ化期限が迫っています。地デジ放送の視聴準備がまだ済んでいない人は、今すぐ準備を進めましょう!

◆問い合わせ先…政策推進課 (☎34-2111 内線63)



地デジ放送が映らないこともあり、新たな工事が必要になる場合もありますが、地デジ化の期限は待つてくれません。準備しても映らない…

地理的な条件などにより個別受信アンテナで地デジ放送を受信できない地域に住んでいる場合、次のような国の支援を受けることができます。

◆暫定的な衛星放送利用  
暫定的に衛星放送を利用して地デジ放送を視聴。BSチューナーの貸し出しやBSアンテナの設置工事を無償で行います

◆高性能等アンテナ対策  
受信点の調査や高性能等受信アンテナ対策に要した経費の一部を助成します  
期限はもう間近です。準備が済んでいない人は今すぐ準備を進めましょう。

## 「個人版私的整理ガイドライン」を利用して借金の減免や免除 大幅に利用しやすくなりました

大震災で借金の返済が難しくなった人をより支援するため、「個人版私的整理ガイドライン」の運用が大きく変わりました。これは、個人の借金を減らしたり免除したりする制度です。これまで利用を考えたことがない人、一度利用しようと思ったけど断念した人、ぜひ利用を考えてみてください。

悩んでいるより、まずは電話や相談を

### ◆できる人

- ① 家の財産を手元に残しながら、借金を整理できます。
- ② 家財道具、古い車（初年度登録から4年以上経過した軽自動車、6年以上経過した普通自動車）
- ③ 義援金、被災者生活支援金、災害弔慰金
- ④ 前記②以外の現金や預貯金（500万円が目安）

### ◆使えない人

- ① 借金を返すことができない人
- ② 近い将来（仮設住宅を出て、新しい住まいを構えるときなど）借金を返せなくなる人
- ③ 仮設住宅を出る段階で住宅費や新たなローンの支払いなどが増えることを踏まえた上で、返せるか返せないかを判断されます
- ④ ※収入を得る手段を失った人は、新

### ◆利用方法

- ガイドライン利用に必要な書類の作成など、専門家が無料で支援してくれます。コールセンター（☎0120-380-883）に電話をして「ガイドラインを利用したい」「専門家を紹介してほしい」と話してください。その他、相談会などを利用する方法もあります。詳しくは保健福祉課（☎33-3102）に問い合わせてください。
- ◆3月25日(日)に説明会・相談会
  - 時間：午後1時から説明会、終了後午後5時まで相談会
  - 場所：陸中ビル3階大ホール
  - 申し込み：不要

### ◆よくある質問

- ① 不動産を手放さなければならぬの？ ↓ 不動産を残しつつ借金を減らす方法もあります
- ② コールセンターに電話をしたらガイドラインの利用を断られた。諦めなければならぬの？ ↓ 十分に事情を考慮していない場合もあります。諦めず弁護士に相談しましょう
- ③ 自動車を手放さなければならぬの？ ↓ 初年度登録から4年以上経過した軽自動車、6年以上経過した普通自動車は、整理方法にかかわらず原則手元に残せます。そ

れより新しい車も手元に残しつつ借金を減らす方法もあります

④ 本当に無料で支援してもらえるの？ ↓ 10億円を超える税金が投入された制度です。必要書類の取り寄せなどの実費以外に費用がかかることはありません。利用を途中でやめても費用を請求されることはありません

解説 宮古ひまわり基金法律事務所 小口幸人弁護士  
◆問い合わせ先：ガイドラインコールセンター（☎0120-380-883）、最寄りの弁護士事務所（下記のとおり）

## ガイドラインを利用した場合の事例

- 事例1**  
▶40代後半、年収300万円。震災による収入変化はなかった▶銀行に2000万円の住宅ローンが残っている▶震災で自宅が流出し、地震保険が1000万円入った▶土地の上に再築可能  
【整理後】地震保険のうち500万円を手元に残し、残りの500万円はローンの返済に充てる。残ローン1500万円のうち、土地の価格相当分を超える部分は全て免除。①土地を売って返済に充てるか、②土地を残して土地相当分のローンを返済
- 事例2**  
▶50代後半、震災前年収350万円。震災で収入が半分になった▶銀行に544万円の住宅ローンが残っている▶震災で自宅が流出し、地震保険が750万円入った。義援金や被災者生活再建支援金が合計200万円残っている▶自宅があった土地は手放しても構わない  
【整理後】義援金などの合計200万円と地震保険のうち500万円、計700万円を手元に残し、残りの250万円をローンの返済に充てる。後日、土地を売却した代金をローン返済に充て、残りのローンは全額免除
- 事例3**  
▶40代後半の漁業者。震災で夫の収入がなくなり、妻の月収18万円のみ▶銀行に800万円の住宅ローンが残っている▶震災で自宅が流出し、地震保険が800万円入った。自宅があった土地は再築不可▶漁船発注済み  
【整理後】地震保険を全額返済に充てれば返済することができそうに見えるが、それでは生活再建できない。そこで、地震保険のうち500万円を手元に残し、残りの300万円をローンの返済に充て、残りのローンは全額免除



3階までが壊滅的な被害 (昨年3月12日撮影)

# 今秋の再開目指す

ホテル羅賀荘

1月から設計、4月には工事開始予定

## 津波で3階まで壊滅的被害

東日本大震災で大きな被害を受けてしまった沿岸部。尊い命、大切な財産など多くを失ってしまいました。その被害と悲しみの大きさは、大震災から1年が経過しようとしている今でも計り知れません。

その中で、村の観光振興施設「ホテル羅賀荘」も大きな被害を受けました。震災前は、年間約6万人が宿泊や会食で利用していた羅賀荘。津波により3階までが壊滅的な被害を

受けました。がれきの撤去が済んだ羅賀荘は今、羅賀漁港にひっそりとたたずんでいます。

## 今年秋頃の営業再開目指す

昨年12月末、羅賀荘の復旧工事へ、国の補助が認められました。復旧工事の総事業費は約9億円。そのうち75パーセントは国や県の補助金で賄われます。

営業再開の目標は今年の秋。1月下旬に復旧に向けた設計に着手し、4月下旬には工事を始める予定です。工事では津波で大きな被害を受けた1〜3階を中心に復旧。津波や災害への安全性を高めることを基本としながら、これまでよりもさらに使いやすい施設を目指していきます。

観光振興に果たす役割だけでなく、村内の経済・雇用にも大きく貢献していたホテル羅賀荘。営業再開を迎えれば、サツパ船アドベンチャーズなど村の体験型観光と連動し、さらなる観光振興や雇用創造につながるはずです。



早期の全線開通を願い、整備予定ルートに中心くいを打つ上机村長

# 三陸復興道路

## 田野畑村大芦～普代村堀内

### 中心くい設置し、本格測量スタート

東日本大震災からの「復興道路」として整備が進められている三陸沿岸道路。本村大芦から普代村堀内間の中心くい設置式が2月22日、尾肝要地区で行われました。村や三陸国道事務所など関係者約30人が出席。国の3次補正予算で新規事業化が決まった「復興道路」の本格的な測量がスタートすることになりました。

三陸国道事務所の工藤栄吉所長は「震災時、三陸縦貫道は避難場所や物資輸送に活用され、まさに命の道路となった。本番はこれから。1日も早い完成目指し、全力スピード感を持ち工事を進める」とあいさつ。上机莞治村長をはじめ、代表10人が木づちで力強く中心くいを打ち込みました。中心くいは、整備ルート of 道路幅の中心。今後、設計のための測量を行い、20メートル間隔で設置されます。



## 4月1日 三陸鉄道

# 野田—田野畑間 運行再開



復旧作業が進む野田村十府ヶ浦付近 (提供・三陸鉄道)

東日本大震災で不通状態が続いている三陸鉄道。現在は平成26年春の全線復旧を目指して工事が進められています。今年4月1日(日)には、陸中野田—田野畑間の運行が再開します。震災から1年以上ぶりに、田野畑駅に三陸鉄道の車両が戻ってきます。この再開を祝い、全線の早期復興を願うため、運行再開イベントを開催します。

◆日時：4月1日(日)

午前8時30分～午後3時

◆場所：田野畑駅周辺

◆内容：テープカット、鉄神ガンライザーショー、マンドリンシンガー・清心ミニコンサートなど

◆その他：三陸鉄道とお菓子のキットカットがコラボ。桜色にラッピングした「キット、ずっとカンパネルラ田野畑駅」「キット、ずっとトレイン」の披露も行います

◆問い合わせ先：政策推進課 (☎34-2111 内線61)



畠山歩ちゃん(6)はバイオリンに挑戦。きれいな音に思わずニコリ

### コンサートで生演奏を楽しむ

若桐保育園(畠山厚子園長)は2月13日、宮古市で活動する3人組音楽グループ「Grazia」を招き、ミニコンサートを開催しました。鑑賞したのは同保育園とたのはた児童館の園児約80人。バイオリン、フルート、キーボードが奏でるアニメソングなど6曲にじっと聴き入ったり、手拍子をしたりしながら生演奏を楽しみました。年長組は楽器にも挑戦。佐藤まつりちゃん(6)は「楽しかった。もっといろいろな楽器をやってみたい」と笑顔を見せていました。

### 体験村から復興への寄付届く

体験村・たのはたネットワーク(道合勇一理事長)が2月1日、村復興基金への寄付を持参し村長室を訪れました。この寄付は、体験村・たのはたが1月に受賞した第7回JTB交流文化賞最優秀賞の賞金の一部。道合理事長は「津波犠牲者を二度と出たくない気持ちで取り組んでいる津波ガイド。それらが評価されて受賞できました。ぜひ復興に役立ててください」と上机莞治村長に手渡し。上机村長は「大切にさせていただきます」と感謝を話しました。



上机村長(左)に寄付を手渡す道合理事長

### ミニバス大会で小学生が交流

村バスケットボール協会(佐藤弘明会長)主催の「第10回村ミニバスケットボール大会」が1月28日、田野畑小体育館で開催されました。大会には本村と岩泉町から男子6チーム、女子4チームが出場。ひた向きにゴールを目指す選手たちに、会場からは大きな声援が送られました。優勝は、男子「田野畑ライオンズ」、女子「田野畑ラビッツ」。女子の部最優秀選手の中里実保さん(田小6年)は「優勝と最優秀選手、すごくうれしいです」と額の汗を拭っていました。



1~6年生まで78人の選手が熱い試合を繰り広げた

### 児童が仮設に餅と元気届ける

田野畑小(早川幸男校長、児童174人)の1、2年生46人は2月3日、仮設住宅に餅を配布しました。全校児童が「今、自分にできること」を考えて企画。餅つき、袋詰め、メッセージなど、児童と父母らが協力して準備しました。中学校仮設団地では3人1組になり1軒ずつ訪問。餅を受け取った菊地サタさん(67)は「さっそくクルミ餅にします」と笑顔。工藤玖羽さん(1年)は「喜んでくれてうれしい。おいしく食べて欲しいな」と満足げな表情を見せていました。



「1、2年生でついた餅です。食べてください」と元気よく1軒ずつ訪問



優勝を決め、笑顔を見せる田野畑VBCの選手たち

### 田野畑スポ少バレー優勝飾る

1月28日に宮古市で行われた「めんこいTV杯第21回岩手県小学生バレーボール新人大会宮古下閉伊地区予選大会」で、田野畑VBCが優勝し、県大会への出場切符を手に入れました。キャプテンの道下朱里さんは「サーブは良かったけど、レシーブはまだまだ。県大会に向けてレシーブを強化したいです」と目標を掲げていました。

田野畑VBCは一緒にバレーボールを楽しむ団員を募集中。月・水・木曜日の夕方、田野畑小体育館で練習しています。

### ソフトバレーで笑顔あふれる

村民ソフトバレーボール交流大会(村体育協会主催)が2月5日、アズビィ体育館で開催されました。9回目を迎えた今年は小学生から40代まで8チーム40人が参加。寒さを吹き飛ばすほどの熱戦が繰り広げられました。予選リーグ、決勝トーナメントともに好プレー珍プレーが続出。好プレーには拍手を送り、珍プレーは笑い飛ばし、体育館は笑顔と熱気に包まれていました。試合結果…優勝・鹿組(奥地崇太代表)、準優勝・しよっ子A(後藤まき子代表)



小学生とその母親チーム「平成&昭和時代」も楽しくプレー

# お知らせ

人口と世帯	火災
2月1日現在( )は前月比	(1月21日～2月20日)
人口 3,866人(-9)	火災の【今月】0件
男 1,897人(-6)	発生件数【今年】1件
女 1,969人(-3)	無火災の連続記録
世帯 1,437世帯(-2)	(2月20日現在)45日

## 診療所で臨時看護師を募集

国保田野畑村診療所は、臨時看護師1人を募集します。

◆募集職種…看護業務全般

◆応募資格…正看護師有資格者、パソコンの操作ができる人

◆給与など…本村規定による

◆加入保険…雇用、労災、健康、厚生

◆任用予定期間…4月1日～6月30日(正規雇用の可能性有)

◆勤務時間…月～金：午前8時30分～午後5時30分

◆応募期限…3月12日(月)

◆応募方法…履歴書(写真付き)を提出してください(郵送可)。後日、面接の日時などをお知らせします

◆応募・問い合わせ先…国保田野畑村診療所(〒028-8407 田野畑村田野畑120-3 ☎33-3101)

## 国保など免除期間を延長

大震災に係る国民健康保険と後期高齢者医療一部負担金の免除期間を9月30日まで延長します。ただし、入院時の食事・生活療養費、柔道整復師などの免除は2月29日までです。

現在の免除証明書の有効期限は「平成24年2月29日まで」と記載されていますが、そのまま使用できます。有効期限延長した証明書は発行しないので、紛失しないように注意してください。

その他の医療保険に加入している人も、引き続き窓口負担が免除される場合があります。各加入保険者に問い合わせてください。

◆問い合わせ先…生活環境課(☎34-2114 内線21)

## 小中学生の医療費を助成中

村は、就学前の乳幼児の医療費助成事業に加え、小中学生の自己負担分の医療費も助成しています。

◆対象…小学生、中学生

◆助成期間…就学時から15歳に達した3月31日まで

◆対象医療機関…保健医療機関および保険薬局

◆給付方法…医療機関の窓口でいったん医療費の自己負担分を支払った後、役場に申請

◆申請方法…医療費(一部負担金)の領収書、健康保険証、金融機関の口座番号(保険者名義)、印鑑を持参。役場生活環境課で所定の用紙に必要事項を記入して申請

◆申請・問い合わせ先…生活環境課(☎34-2114 内線25)

## 国民年金の免除は申請を

大震災で住宅、家財、その他の財産についておおむね2分の1以上の損害を受けた人は、本人からの申し出によって国民年金保険料が全額免除になります。免除になる対象者や詳細、申請手続きについては、生活環境課または宮古年金事務所に問い合わせてください。

◆申請期限…3月30日(金)

◆申請に必要なもの…印鑑

◆申請・問い合わせ先…生活環境課(☎34-2114 内線23)、宮古年金事務所(☎0193-62-1963)

## 森林取得したら届け出を

森林法が改正され、今年4月以降に森林の所有者になった人(個人、法人を問わず)は、面積に関わらず村長への届け出が義務付けられました。

◆対象者…売買や相続などで森林の土地を取得した人

◆届け出期間…土地取得から90日以内。必要書類は産業振興課に問い合わせてください

◆届け出・問い合わせ先…産業振興課(☎34-2111 内線43)

## フリーマーケットを開催

村地域子育て支援センターでは、赤ちゃんや子供の服、本やおもちゃなどを販売するフリーマーケットを開催します。買い物袋を持参してご来場ください。

◆日時…3月9日(金)

午前10時～午後1時

◆場所…健診センター

◆問い合わせ先…村地域子育て支援センター(☎37-3577)

## 菅窪鹿踊・剣舞テレビ放送

2月25、26の両日、東京都のNHKホールで開催された「第12回地域伝統芸能まつり」。本村から菅窪鹿踊・剣舞が出演し、勇壮な舞を披露しました。その模様がテレビ放送されますので、ぜひご覧ください。

◆放送日時…3月22日(木) 午前9時15分～午後0時45分 NHK BSプレミアム

◆出演…菅窪鹿踊・剣舞、雄勝法印神楽(宮城県石巻市)、福田十二神楽(福島県新地町)など全国10団体

◆問い合わせ先…教育委員会(☎34-2226)

## 福祉なんでも巡回相談開催

大震災の被災者を対象に、福祉全般の相談を無料で受け付ける巡回相談を開催します。

◆日時…3月8日(木) 午前10時～正午

◆場所…アズビィ学習センター  
◆問い合わせ先…宮古保健福祉環境センター福祉部(☎0193-64-2213)

## 人間ドックに助成金を交付

◆対象…40～74歳で人間ドックを受診した人(全医療機関)

◆助成額…課税状況により1万～2万円(3年に1回の助成)

◆申請方法…検診結果の写しに領収書または受診証明書を添えて、保健福祉課に申請

◆開始日…平成23年8月1日(月)以降の受診分から

◆問い合わせ先…保健福祉課(☎33-3102)

## 春の火災予防運動実施中

3月1日から7日まで「消したはず 決めつけないで もう一度」をスローガンに、春の全国火災予防運動を展開します。風が強く空気が乾燥し、火災の起こりやすい気象状態が続くこの季節。今年に入り、村内でも火災が発生しています。火の取り扱いには十分注意しましょう。

◆火の用心のポイント

①こんろ…そばを離れない。離れるときは必ず火を消す

②たばこ…ポイ捨て、寝たばこは厳禁。必ず消火確認を

③たき火…火の粉が出火の原因に。事前に届け出も忘れない

④ストーブ…燃えやすいもののそばで使用しない

⑤放火…燃えやすい物を家の回りに置かない。ストーブの上に洗濯物を干すのは危険

⑥火遊び…子どもが手の届くところにライターなど置かない

◆住宅用火災警報器の設置を

昨年6月1日から設置が義務付けられました。設置した人は届け出をしてください。電話での届け出も受け付けています。

◆問い合わせ先…消防田野畑分署(☎34-2100)

## 広報に求人情報を載せませんか

広報たのはたに、村内企業などの求人情報を掲載しませんか。掲載を希望する場合は、政策推進課に連絡してください。

◆締切日…①1日号：前月15日 ②お知らせ版：当月8日

◆掲載料…無料

◆申し込み・問い合わせ先…政策推進課(☎34-2111 内線62)

## 三鉄ビデオに出演しませんか

4月1日に陸中野田～田野畑間の運行を再開する三陸鉄道。その喜びを伝える映像を制作します。子どものころに遊んだ「電車ごっこ」風に久慈から田野畑で撮影し、世界に向けて発信。年齢性別問わず誰でも参加できますので、皆さんの参加をお願いします。

◆撮影日時…3月4日(日) 正午～3時(炊き出しあり)

◆集合場所…田野畑駅

◆申し込み・問い合わせ先…政策推進課(☎34-2111 内線61)

## 村税納付に口座振替の利用を

村税の納付は、口座振替がお勧めです。口座振替なら村税を納めに行く手間が省け、納め忘れの心配もなく、安心確実です。

◆手続き方法…預貯金通帳と通帳届出印鑑を持ち、下記の金融機関の窓口で手続きをしてください。納税義務者と口座名義人が異なる場合でも口座振替が可能です

◆取り扱い金融機関…①北日本銀行本店、支店 ②岩手銀行岩泉支店 ③新岩手農業協同組合田野畑支所 ④岩手県信用漁業協同組合連合会田野畑村支店 ⑤ゆうちょ銀行または村内の各郵便局

◆取り扱い村税…①個人村県民税(普通徴収) ②固定資産税 ③軽自動車税 ④国民健康保険税

◆開始日…金融機関で手続きした日の翌月末の納期分から

◆問い合わせ先…税務課(☎34-2112 内線32)

## 地デジ化は3月31日

テレビ完全地上デジタル放送への移行が間近です。早めの対策を心掛けましょう。

◆問い合わせ先…政策推進課(☎34-2111 内線63)

## 三鉄復興イベント出店者募集

◆日時…4月1日(日) 午前8時30分～午後3時

◆場所…田野畑駅

◆申込期限…3月9日(金)

◆その他…テントは主催者で準備します。売り場面積などの詳細は、申し込み状況により後日お知らせします

◆申し込み・問い合わせ先…政策推進課(☎34-2111 内線61)

## 広報クイズ

問題の答えをはがきを書いて、役場政策推進課（3月21日まで）にお送りください。正解者の中から抽選で5名様にプレゼントが当たります。

Q1 1月27日、田野畑小児童が学んだ村復興計画。その後、子どもたちが考えたことは？  
A) 自分たちができること  
B) ほしいプレゼント

Q2 津波の特徴は？  
A) 周期の短い波  
B) 高さより長さ

Q3 3月31日に迫った地デジ化期限。アンテナ調整の他に必要なものは？  
A) アナログテレビ  
B) デジタルテレビ

■前号(2月号)の正解  
Q1→B、Q2→B、Q3→A

■当選者(敬称略)  
上山明美(田野畑)、畠山力治(真木沢)、熊谷正初(猿山)、牧原喜孝(大芦)、上山年和(北山)

## おめでた おくやみ

[平成24年1月届け出分]  
(一部敬称略)

●生まれた赤ちゃん  
畠山 夕奈(ゆうな)ちゃん  
竜也・智恵子 菅 窪

■ご冥福をお祈りいたします

鈴木 ハナエ(86) 島 越  
佐々木 徳太郎(100) 巢 合  
上 村 力子(95) 北 山  
大 澤 貞一(60) 羅 賀  
廣 内 ヤエ子(77) 羅 賀  
渡 邊 トミ(87) 島 越  
畠 山 憲二(80) 菅 窪  
鈴木 ナヲノ(103) 島 越  
赤 坂 竹 藏(92) 田 代  
熊 谷 キヌ(82) 猿 山

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口に出してください

## 「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

1887万2,449円 (2月20日現在)

362件(村内86件、県内117件、県外159件)

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。総務課(☎34-2111 内線15)までご連絡ください。

## 役立ちカレンダー

期間：3月3日(土)～4月1日(日)

月 日	行 事	場 所	時 間	問い合わせ先
3月3日(土)	岩泉高田野畑校卒業式	田野畑校体育館	10:00～11:30	岩泉高田野畑校(☎34-2050)
	岩泉高田野畑校閉校式典	田野畑校体育館	14:00～15:00	岩泉高田野畑校(☎34-2050)
	NHK土曜ドラマスペシャル「それからの海」放送日	NHK総合テレビ	19:30～20:43	復興対策室(内線68)
11日(日)	東日本大震災一周年田野畑村追悼式	田野畑中体育館	14:30～15:50	復興対策室(内線67)
12日(月)	定期健康相談	保健センター	10:00～11:30	保健福祉課
14日(水)	田野畑中卒業式	中学校体育館	9:30～11:00	田野畑中(☎34-2301)
16日(金)	田野畑小卒業式	小学校体育館	10:00～11:30	田野畑小(☎34-2050)
17日(土)	たのはた児童館卒園式	たのはた児童館	9:00～10:30	たのはた児童館(☎34-2331)
21日(水)	乳児健診	健診センター	13:00～15:30	保健福祉課
24日(土)	若桐保育園卒園式	若桐保育園	10:00～11:00	若桐保育園(☎37-3577)
26日(月)	定期健康相談	保健センター	10:00～11:30	保健福祉課
4月1日(日)	三陸鉄道運行再開イベント	田野畑駅	8:30～15:00	政策推進課(内線61)

役場☎34-2111 / 教育委員会☎34-2226 / 医科診療所☎33-3101 / 歯科診療所☎33-3100 / 保健福祉課☎33-3102  
直通電話を開設しました

## 新着図書ご案内

そらをみえます ないてます 椎名 誠 著

1964年、東京。深夜のバイトをする俺は女性をめぐるけんかに巻き込まれる。そして、妻となる女性と出会う。青春の甘く苦い部分を描いたこん身の純文学。



## はまなす 掲示板

はまなす号は、年度末の図書整理のため3月の巡回は運休します。次回は4月下旬の巡回予定です。

◆問い合わせ先…教育委員会(☎34-2226)

# 郵便事業(株) 寄付金配分

仮設住宅の除雪対策に966万円

村は、郵便事業(株)東日本大震災寄付金配分の決定を受け、乗用小型除雪機やミニローダーなどを整備しました。整備した備品は、仮設住宅入居者の安全な暮らしを確保する除雪対策に活用するほか、冬季災害時の救助活動に備えます。この配分金は、東日本大震災の復興を目的に発売された寄付金付きはがきや切手の売り上げから、本村を含む83の被災自治体に配分決定されています。

### ■整備した備品(配分額966万6,000円)

備品名	数量	金額(円)
乗用小型除雪機	2台	6,409,998
乗用型ミニローダー	2台	978,600
移動式融雪機	3台	724,500
車載運搬用アルミブリッジ	3組	137,025
スノーダンプ	200台	583,800
雪かきスコップ	200本	394,800
氷割り器	77本	438,637
合計		9,667,360

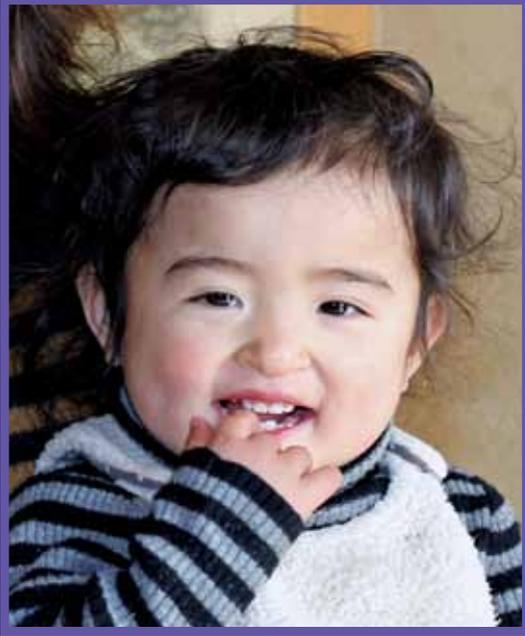


整備した乗用型ミニローダー

県内外のデザイナーや写真家などの有志が、復興に向かう被災地の姿を撮影し、全国に支援を呼び掛けている「復興の狼煙ポスタープロジェクト」の撮影会が2月11日、アズビオホール前で行われました。集まった約120人は復興に向けた思いや願いを胸に、手を取り合って写真に納まりました。



復興へ 思い一つに



中村 <sup>ほのか</sup>穂香ちゃん（1歳7カ月）  
父・透さん、母・美鈴さん＝明戸＝

お母さんからのひとこと

お兄ちゃんに負けないうらい元気で、いじめられてもやり返しています。最近、まき運びのお手伝いも。みんなに愛されるような子に育ててね。

わが家の  
アイドル



北田 <sup>しの</sup>汐野ちゃん（1歳8カ月）  
父・智巳さん、母・由希子さん＝北山＝

お母さんからのひとこと

アンパンマンや音の出る本が大好き。とってもおしゃべりさんです。何でもよく食べますが、少しだけ風邪をひきやすいので、健康に育ててほしいです。



編集ごぼれ話

小・中学校で開催した復興計画の説明会。真剣な表情で説明を聞く皆さんの表情がとても印象的でした。意見や質問が積極的にだされ、皆さんが村の未来を見据えていることも確認。意見を発表できなかった人も、心の中ではきつと村の未来を描いていることと思います▼2月4日、お隣普代村の黒崎荘に広報マンやOBが集合。これは被災地でお金を使い、復興を支援しようという趣旨で企画されたもので、北は北海道から南は九州まで約70人が八戸市から普代村までの被災地を見学。夜は大懇親会となりました。その席上、群馬県高崎市から沿岸市町村広報担当者にと「復興だるま」をいただきました。全国の支援して下さる皆さんに感謝しながら、さっそく復興の願いを込めて目を入れました。祈願が成就し、右目を入れる日が1日でも早く来ることを祈っています。



（政策推進課 佐々木和也）